チヨダウーテ株式会社

CHIYODA UTE BUSINESS REPORT

第83期 株主通信

2020.4.1 > 2021.3.31

証券コード：5387

株主の皆様へ To our shareholders

代表取締役会長
平田　晴久

今は、まさに「転換点」。価値創造企業へ向けた取り組みを推進します。

新型コロナウイルス感染症の蔓延が続く中、お亡くなりになった方々に謹んでお悔み申し上げます。罹患された方々が一日も早く回復され、また感染症が終息し、皆さまの平穏な生活が戻りますことを心よりお祈りいたします。

当社グループは、一昨年12月にクナウフ社と更なる資本業務提携を強化し、昨年の4月よりクナウフ副社長を迎え、新体制で第83期をスタートしました。4月、5月には緊急事態宣言も出され、大変心配しましたが、新体制の中で

①コスト競争力の回復、EBITDA10%以上
②顧客重視
③4バリュー※

を中心とした当社を働きやすい職場にすることを中心に当社の新しい価値の創造をテーマに取り組んできました。

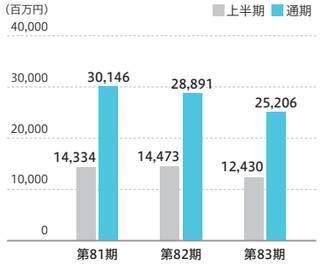
これらの取り組みの成果もあり、当期は業界全体の出荷量が10%程度落ち込む中でも、減収ではありますが、黒字化を達成することができました。今後は、黒字化の継続とともに、目指す業績指標であるEBITDA10%の達成に向け引き続き社員一同邁進する所存であります。

株主の皆さまにおかれましては、これからの当社グループの変化にご期待いただき、長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

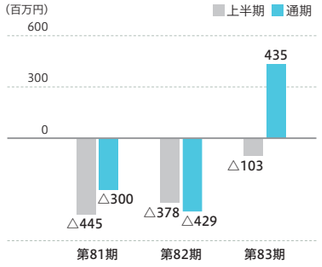
※私たちらしさ・パートナーシップ・エンゲージメント・起業家精神

決算ハイライト（連結） Financial Highlights

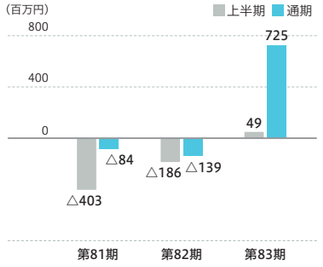
売上高



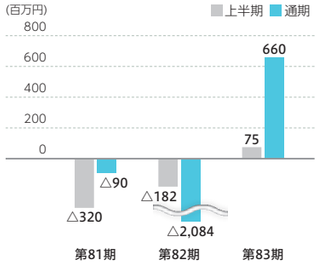
営業利益又は営業損失（△）



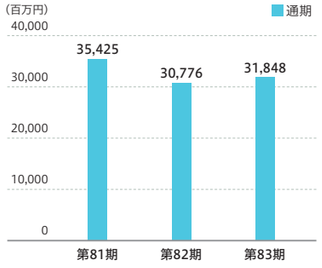
経常利益又は経常損失（△）



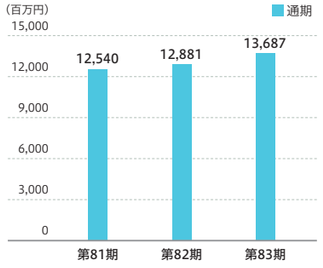
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）



総資産



純資産



Contents

株主の皆様へ …… 1
決算ハイライト（連結） …… 2
トップインタビュー …… 3
事業内容 …… 5
CSR通信 …… 6
新・代表取締役社長就任インタビュー …… 7
連結財務諸表 …… 9
会社概要・株式の状況 …… 10

Top Interview

2021年3月期の事業概況についてお聞かせ下さい。

2021年3月期の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響で急速に悪化した後、一回目の緊急事態宣言の解除を受けて持ち直しの動きが見られたものの、今年初めの二回目の宣言発令を受け、外食・宿泊など対面型サービス消費を中心に年度末にかけて低調な動きに転じるなど、依然として感染状況の終息時期を見通せぬまま、先行き不透明感が拭えない状況が続いております。

住宅市場におきましては、2019年度秋の消費税増税後に直面した新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、新設住宅着工戸数は今年3月においてようやく増加に転じたものの、今年2月まで20ヶ月連続で前年同月水準を下回り、2020年度の新設住宅着工戸数は812千戸（前年度比8.1%減）と2年連続で減少しており、近年ではリーマン・ショック後の2009年度（775千戸）に次ぐ低い水準となりました。

石膏ボード業界におきましては、低調な住宅市場の動向とともに、オリンピック関連施設の特需が終わり、非住宅向けの建設計画が端境期に入ったこと等も重なり、2020年度の製品出荷量は446百万㎡（前年度比10.8%減）と大幅に減少しております。

取り組み成果を振り返っていただけますか?

当社グループにおきましては、昨年1月のクナウフ・グループとの資本業務提携強化を踏まえ、新たな経営体制のもと、当事業年度は『競争力の回復』をキーワードに掲げ、安定した収益を確保できる企業基盤の再構築に向け徹底的に取り組んでまいりました。年度初めより新型コロナウイルス感染症の影響でトップラインの大幅な頭打ちという大きな事業環境の変化に直面しましたが、近い将来において人口減少に起因する住宅市場の縮小という厳しい環境を迎えようとも、他の建材への代替が利かない石こうボードをはじめとする製品の付加価値化を一層進めつつ、安定した事業を継続することで社会貢献をしっかりと果たせるよう企業体質の改革に取り組んでいるところであります。

この結果、当社グループにおける業績は、売上高は252億6百万円（前年同期比12.8%減）となりました。また、営業利益は4億35百万円（前年同期は営業損失4億29百万円）、経常利益は7億25百万円（前年同期は経常損失1億39百万円）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は6億60百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失20億84百万円）となりました。

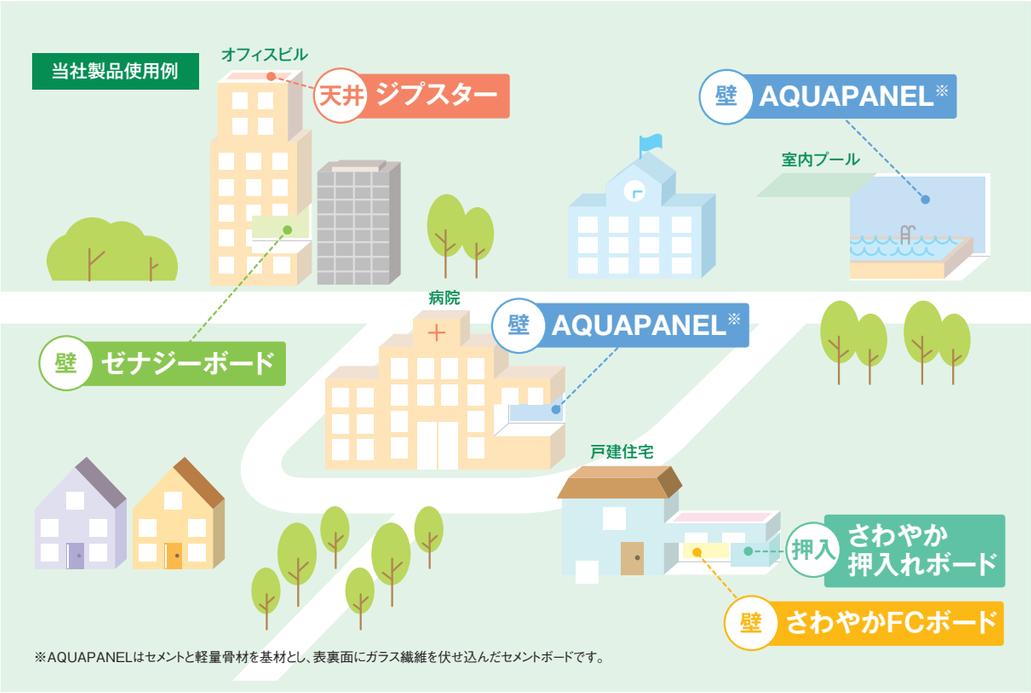
クナウフ・グループとの業務提携の目的をお聞かせ下さい。

当社グループにおきましては、将来の変化の激しい市場環境も見据え、昨年1月にクナウフ・グループとより一層強固な資本業務提携を締結し、新たな経営体制のもと、『競争力の回復』をキーワードに掲げ、厳しい環境に直面しようとも、安定した収益を確保できる強靭な企業基盤の再構築を目的に、諸課題の改善に徹底した取り組みを進めてまいりました。第83期はトップラインが頭打ちする中にあっても黒字化を達成することができましたが、一時的な収益積上げのみならず構造的な体質改善にも注力しながら成果を出すことに地道に取り組んでまいります。その一つとして2021年度に入り、職場の安全衛生を改善することを目的とする「お守りプロジェクト」を展開しており、従業員の職場環境の整備に全社一丸であらためて取り組み始めたところです。経営から現場従業員まで職場に潜む災害リスクの撲滅活動は、コストではなく前向きな投資との認識のもと社員の安全衛生だけにとどまらず顧客満足度の改善にも繋がると考え、経営が進捗管理に直接関与し当たり前のことを愚直に取り組んでいるところです。

昨年4月より新たな経営体制のもとでスタートした経営委員会では、社内各部門の課題を速やかに経営レベルで共有し、適切かつ迅速に対処できるようほぼ毎週開催することで、成果のスピードアップを図っており、その取り組みを継続してまいります。

チヨダウーテは、あなたの暮らしの中に。

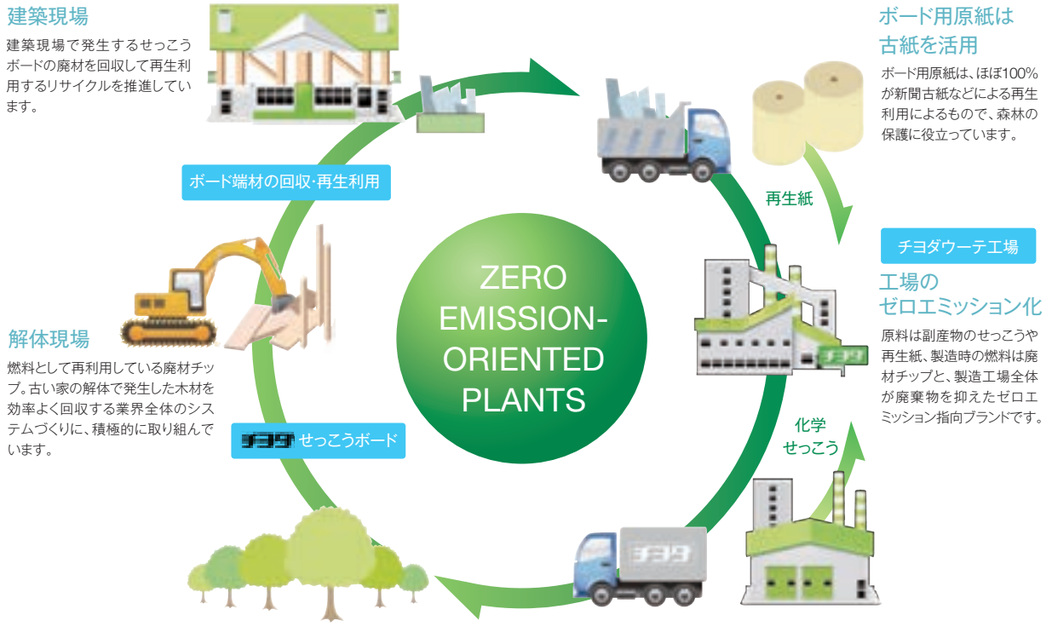
私たちチヨダウーテが取り扱う建築用内装材「せっこうボード」。
防火性、遮音性などの特長を持ち、環境性や経済性にも優れていることから、「なくてはならない建材」として
戸建住宅やオフィスビルの壁・床・天井など、様々な用途で幅広く使用されています。



※AQUAPANELはセメントと軽量骨材を基材とし、表裏面にガラス繊維を伏せ込んだセメントボードです。

せっこうボードづくりを通して、循環型社会に貢献。

チヨダウーテのせっこうボード生産活動は、そのほとんどがリサイクルによって成り立っています。
地球資源を大切にする循環社会の実現が不可欠となった今、企業の社会的責任として、せっこうボードに関わる
一つひとつが、それぞれの場面で着実にリサイクルシステムとして結実し、環境保護に貢献できるよう努力し続けます。



建築現場

建築現場で発生するせっこうボードの廃材を回収して再生利用するリサイクルを推進しています。

ボード用原紙は古紙を活用

ボード用原紙は、ほぼ100%が新聞古紙などによる再生利用によるもので、森林の保護に役立っています。

工場のゼロエミッション化

原料は副産物のせっこうや再生紙、製造時の燃料は廃材チップと、製造工場全体が廃棄物を抑えたゼロエミッション指向ブランドです。

解体現場

燃料として再利用している廃材チップ。古い家の解体で発生した木材を効率よく回収する業界全体のシステムづくりに、積極的に取り組んでいます。

建材の代役として森林を保護

せっこうボードは木材に代わる代表的な建築素材として、日本では約80年にわたって活躍し、森林伐採を防いでいます。

副産物「化学せっこう」を活用

火力発電所や肥料工場等から副産物として発生する「化学せっこう」をせっこうボードの芯材として再利用しています。

新・代表取締役社長
インタビュー

平田 芳久

Yoshihisa Hirata

当社は、本年6月25日付で
平田芳久を代表取締役社長とする
新経営体制を発足いたしました。
新社長の平田より社長就任の抱負、
今後の戦略、2022年3月期の見通し等について
ご説明させていただきます。

Q1 社長就任に当たっての抱負をお聞かせ下さい。

このたび、前社長、平田晴久の後任として社長に就任いたしました。チヨダウーテグループの一員としてお客様から信頼していただける企業を目指し、グループ発展のために尽力していく所存です。

どの企業でも次の世代へとバトンを渡す時は必ず訪れますが、当社が今まさにそのタイミングです。ステークホルダーの皆様は期待と不安をもって受け止められていることと存じますが、しっかりと結果を出すことでその思いに応えてまいりたいと思います。

経営に関する考え方は、今までと変わることはありません。当社の歴代経営者が大切にしてきた価値観・考え方を社員一人一人に改めて示し、「最高の品質」と「独自技術」で、「安全・快適な生活空間」を届けるというミッションを常に念頭に置き、経営を遂行してまいります。これまで長い時間をかけて培われてきた企業価値を継承し、さらに変化する時代に対応できる会社へと進化させてまいります。

Q2 今後の見通しと成長戦略についてご説明願います。

コロナ禍で接触回避や移動制限が長期化する中、テレワークの推進、WEBによる商談等、営業活動は変化しています。今後も新型コロナの感染防止策を講じつつ、当社のさまざまな商品群を得意先へトータルに提案していくソリューション営業を、さらに推し進める予定です。

一方、生産部門では職場の安全衛生向上を目的とする「お守りプロジェクト」を展開し、職場に潜む災害リスクを回避することで、社員の安全衛生にとどまらず顧客満足度の向上も目指しています。

また、クナウフ・グループとの提携に伴い、企業理念体系を更新しました。4つの価値観「私たちらしさ・パートナーシップ・エンゲージメント・起業家精神」を全社員が共有することで、仕事の質向上と共に愛社精神の醸成にもつなげたいと思っています。

Q3 2022年3月期の展望と取り組みをお聞かせ下さい。

2021年3月期は消費増税と新型コロナというダブルパンチの影響を受けましたが、その反動で2022年3月期は戸建の実需が高まると見込まれています。さらに住宅ローン減税の優遇措置期間が令和3年12月まで延長し、対象となる住宅の要件が50平米以上から40平米以上に緩和される等、さまざまな住宅購入への支援策が打ち出されています。

一方、2021年3月頃から顕在化してきた木材価格の高騰、ウッドショックは日本の住宅産業にも影響を及ぼしつつあり、民間の非住宅建設投資もコロナ禍等により前期を下回るものと予想されています。

当社グループはこのように変化を続ける市場環境に対応できる企業体質へと強化を図るため、昨年から取り組んできたコスト競争力の強化をさらに推し進め、安定した収益を確保できるよう努めてまいります。

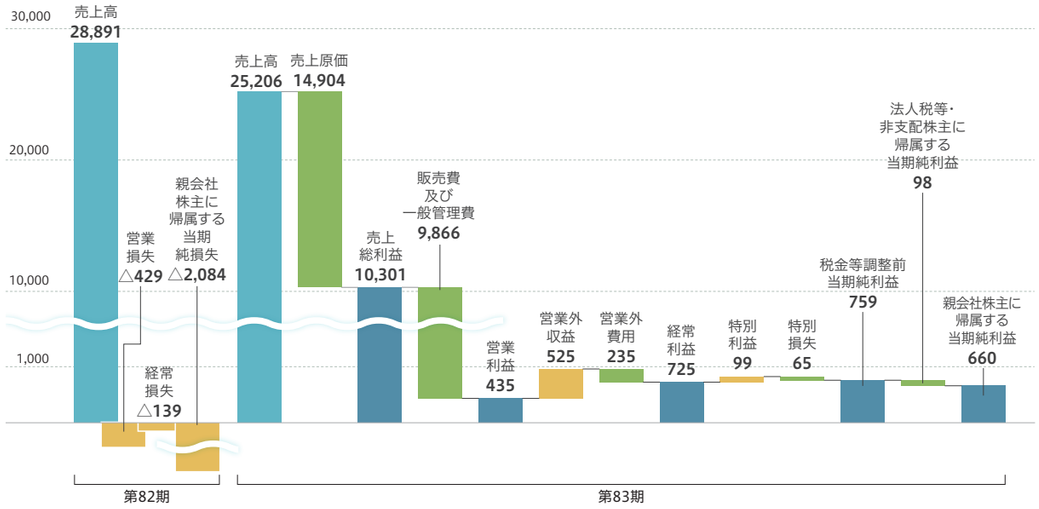
Q4 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化で企業活動が停滞する中、企業収益が大幅に減少するなど厳しい状況で推移しています。今後も新型コロナ感染拡大の防止策を講じつつ、時代の変化に対応できる強靭な企業基盤の構築に尽力し、株主の皆様を始め全てのステークホルダーの皆様のご期待に応えてまいる所存です。今後とも倍旧のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

連結財務諸表 Financial Statements

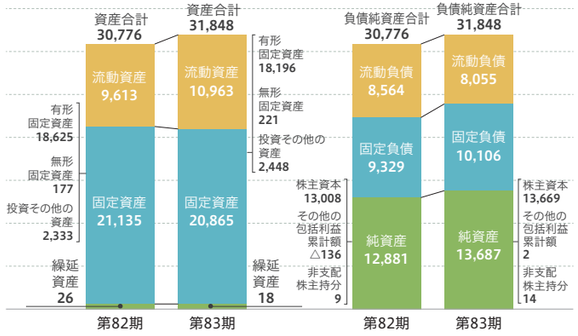
連結損益計算書

（単位：百万円）



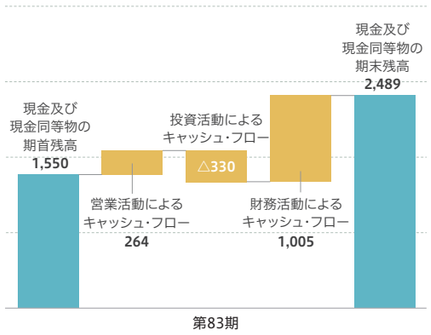
連結貸借対照表

（単位：百万円）



連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）



会社概要・株式の状況 Corporate Data & Stock Information

会社概要

（2021年3月31日現在）

商号	チヨダウーテ株式会社 CHIYODA UTE CO.,Ltd.
設立年月日	1948年1月17日
資本金	59億60百万円
従業員数	597名（連結）
会計監査人	仰星監査法人
主要な事業内容	石こうボードの開発・製造・販売
本社	三重県四日市市住吉町15番2号
支社	東京
支店	札幌　中部　大阪　福岡
工場	室蘭　千葉　四日市　貝塚　下関

役員

（2021年6月25日現在）

代表取締役会長	平田　晴久
代表取締役社長	平田　芳久
代表取締役副社長	クナウフ・アルフォンス・フレデリック
専務取締役	ワーグナー・トーマス
取締役（※1）	武藤　時裕
取締役（※1）	クノッツアー・ウーヴェ
常勤監査役	片岡　孝之
監査役（※2）	金森　武美
監査役（※2）	山本　景一

（※1）は社外取締役であります。
（※2）は社外監査役であります。

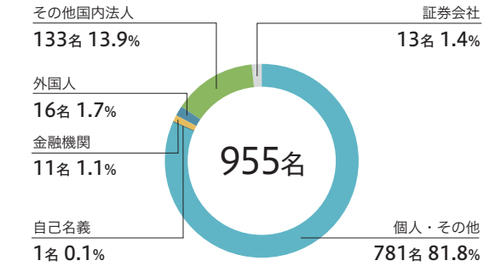
株式の状況

（2021年3月31日現在）

発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式総数	23,737,165株
株主数	955名

所有者別分布状況

（2021年3月31日現在）



大株主

（2021年3月31日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
Knauf International GmbH	10,558	45.2
株式会社晴山	2,200	9.4
株式会社平田興産	1,635	7.0
株式会社ゼロシステム	1,265	5.4
チヨダ共栄会	811	3.4
基毘商事株式会社	701	3.0
平田美代子	634	2.7
平田晴久	452	1.9
チヨダ取引先持株会	351	1.5
株式会社三菱UFJ銀行	300	1.2

（注）持株比率は、自己株式（418,768株）を控除して計算しております。

株主メモ Shareholder Note

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
株主総会	定時　毎年6月 臨時　必要ある場合
基準日 定時株主総会 期末配当 中間配当	 毎年3月31日 毎年3月31日 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号　〒460-8685 三井住友信託銀行株式会社　名古屋証券代行営業部 0120-782-031（フリーダイヤル）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場（証券コード5387）
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告の掲載アドレスは次のとおりです。 http://www.chiyoda-ute.co.jp/

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

当社ホームページのご案内 Web Site

当社ホームページでは、会社情報、製品情報、ニュースリリース、IR情報、CSR等の最新情報を掲載しています。

IR情報

IRサイトでは、決算短信等の決算資料、経営理念、ビジネスチャンス、株式情報といった株主・投資家の皆様のお役に立つ情報をご覧いただけます。

SDGsへの取り組み

当社は、事業活動を通じて新たな経済的・社会的価値を生み出し、安全と環境に寄与していくことを目指しています。

http://www.chiyoda-ute.co.jp/

チヨダウーテ株式会社